

# ■ 浸水による被害の軽減に関する学習



そなえる  
減災対策

防災の担い手となる人材育成に関する取り組み

兵庫県

篠山市

丹波市



・平成27年11月に丹波管内のひょうご防災リーダーを対象に、フォローアップ講座を開催

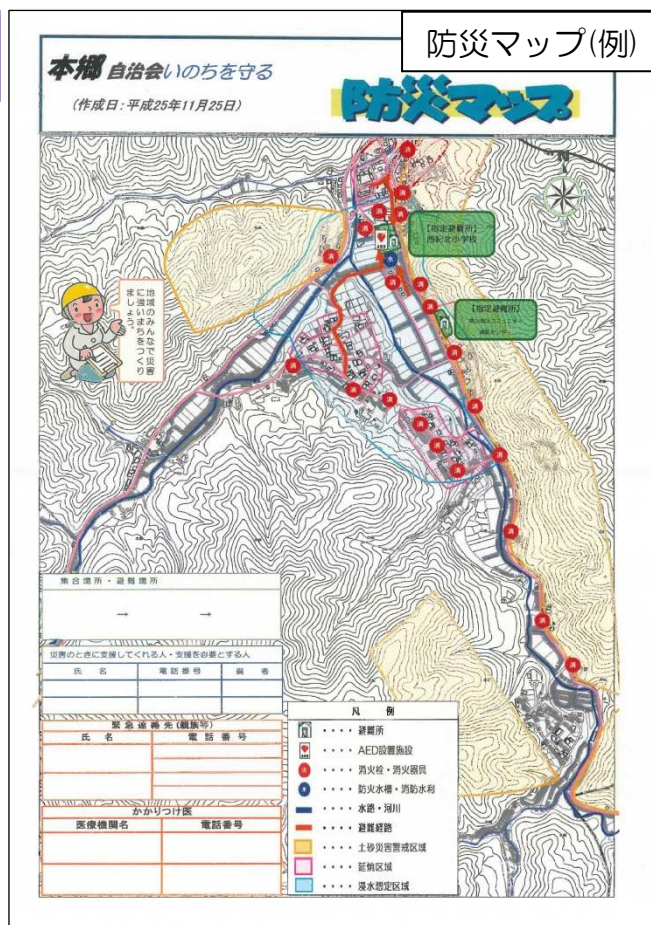
# ■ 浸水による被害の軽減に関する学習



そなえる  
減災対策

## 自治会ごとのハザードマップの作成

篠山市



平成25年度に計画地域内の全自治会において作成完了。

丹波市



H22~25年度にかけて自治会ごとのハザードマップを整備。平成26年の豪雨災害を受け、随時、更新支援を行う。

# ■ 浸水による被害の軽減のための体制の整備



そなえる  
減災対策

## 協定締結に関する取り組み

### 篠山市

- ・ マックスバリュ西日本株式会社(広島市)と災害協定を締結  
災害時、避難所などに同社が食料や生活必需品を提供
- ・ 市内の社会福祉法人等と災害時要援護者の緊急受け入れに関する協定を締結

### 丹波市

- ・ 関西国際大学人間学部と連携協力に関する協定を締結  
平成26年8月豪雨災害からの復興推進を前提として各分野で相互に協力し、「活力のある地域づくり」と「大学の教育研究機能の向上」に役立てる。



# ■ 浸水による被害の軽減のための体制の整備

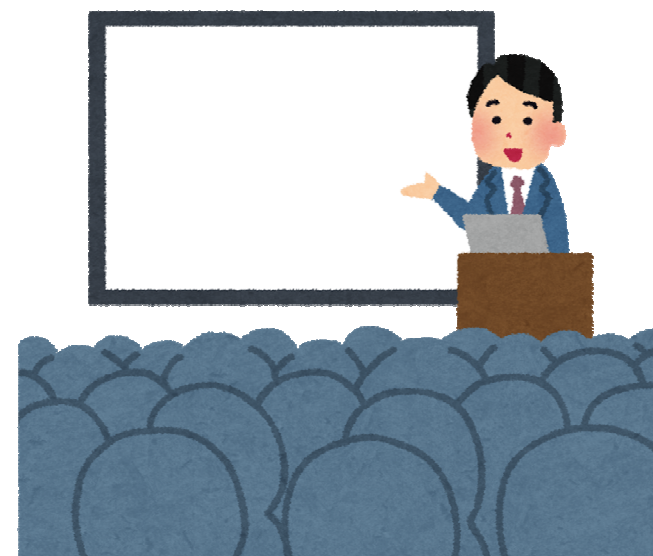
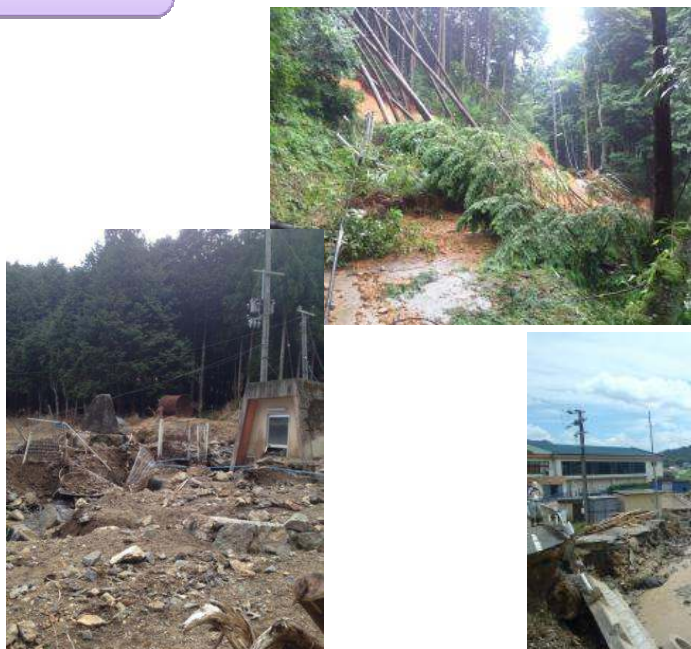


そなえる  
減災対策

## 共助に関する取り組み

平成26年8月豪雨災害を受けて

丹波市



- 平成26年の豪雨災害の経験と教訓を活かすため、実際の災害現場で自主防災組織等が行った活動（避難誘導や避難所解説等）について講話を行い、水害や土砂災害時等における共助体制の大切さ、備えておく知識と心構えについて市民周知を行った。

# 訓練の実施



そなえる  
減災対策

## 防災訓練に関する取り組み

篠山市

### 自治会による防災訓練の実施（西紀北地区）



・地域住民が中心となって防災訓練を実施し、約100名の参加があった。

チラシ



# ■ 訓練の実施



そなえる  
減災対策

防災訓練に関する取り組み

丹波市



- 自主防災組織等が実施する防災訓練を23回実施した

# ■ 浸水による被害からの早期の生活の再建



そなえる  
減災対策

## 水害に対する保険制度等の加入促進

### 兵庫県

- 管内市・自治会の協力を得てパンフレット等を全戸配布
- 丹波新聞への広告記事を掲載及び市広報誌への掲載依頼
- フェニックス共済加入促進員による個別訪問 など

### 篠山市

- 自主防災組織等が実施する訓練等の際にフェニックス共済加入推進員とともに共済内容の周知及びパンフレット等配布
- 自治会長を通じ、パンフレットを配布
- 市広報誌への記事掲載 など

### 丹波市

- 自主防災組織等が実施する訓練等の際にフェニックス共済加入推進員とともに共済内容の周知及びパンフレット等配布
- 市長の顔写真入り加入促進チラシ及びパンフレットを全戸配布
- 市広報誌への記事掲載 など

～兵庫県が提供する「住まい再建のしくみ」～  
兵庫県住宅再建共済制度

# フェニックス共済

- 年5,000円で最大600万円
- 簡単な加入! 迅速な給付!
- 他の保険・共済と関係なく加入・給付

小さな掛金で大きな安心

県内に住宅をお持ちの方の  
**住宅再建共済制度**  
年額**5,000円**で  
最大**600万円**の給付

県内にお住まいの方の  
**家財再建共済制度**  
年額**1,500円**で  
最大**50万円**の給付

分譲マンションにお住まいの方も加入可

さらにワンコインで追加加入できます!

**住宅再建 + 家財再建**  
セット加入で **年額6,000円**

住宅再建共済制度に上乗せ加入でもっと安心!!

**住宅再建共済制度(一部損壊特約)**  
年額**500円**で補修時等に**25万円**の給付

住宅の被害認定	給付内容
全壊	これまでの住宅再建共済制度の給付対象 年額5,000円で最大600万円
大規模半壊	一部損壊特約で給付対象となる部分
半壊	年額500円で補修時等に25万円
一部損壊 (損害割合10%以上20%未満)	

フェニックス共済(兵庫県住宅再建共済制度)は、阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、兵庫県が創設して運営している制度です。地震、豪雨など、自然災害で住宅が損壊したとき、再建を支援します。

そうだ フェニックスがあった

# 環境の保全と創造への配慮

## 環境へ配慮した取り組み

丹波市



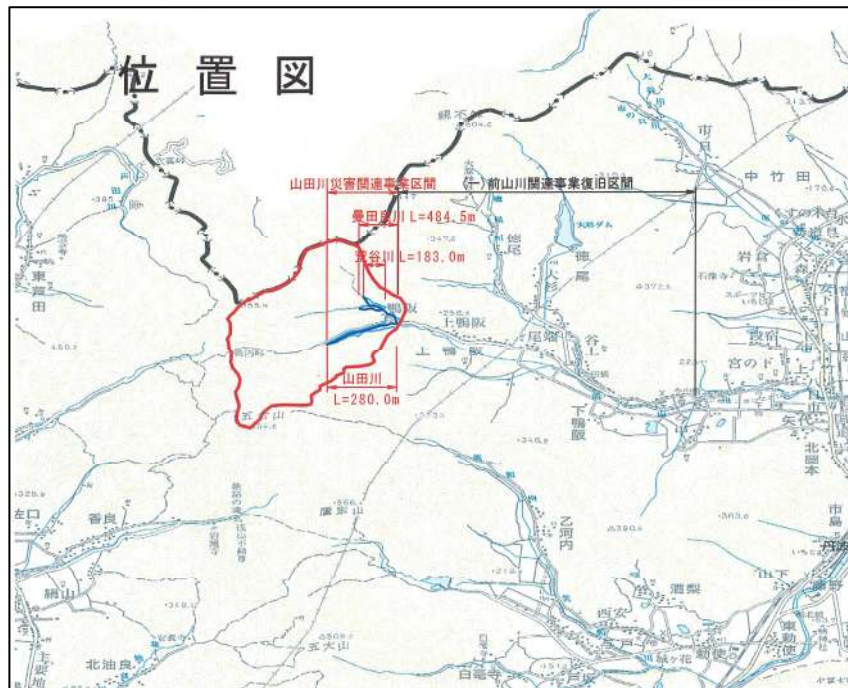
【被災】



【通常の災害復旧事業】  
⇒原形復旧



【河川災害関連事業】  
⇒流下能力の向上、  
護岸の強化等



山田川

参考

## 多自然川づくりとは

- ・河川全体の自然の営みを視野に入れる。
- ・地域の暮らしや歴史・文化との調和にも配慮する。
- ・河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出するために河川管理を行う。

出典：国土交通省ホームページ

(<http://www.mlit.go.jp/river/kankyo/main/kankyotashizen/02.html>)

- ・(普)山田川河川災害関連事業で多自然川づくりにより整備中